



たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

印西市・印旛郡栄町 特集号



12月に続き2定例会本会議・連続登壇の滝田議員

印旛(NT地区)新児童相談所 新年度、設計着手へ

い状況に置かれているものと思われ。
そこであろが、2月1日から新たに稼働した児童相談所業務システムでは、

どのような業務の効率化が図られたのか。
健康福祉部長 新システムでは、児童に関する情報や通告内容、初期調査結果などについて、入力から進捗管理までを一元的に行い、会議資料自動作成機能を用いることにより、速やかにバーレース会議を開催することが可能となるなど、業務の効率化が図られたところで、

さらに、虐待事案に関する警察からの照会についても、児童相談所と警察本部及び県内全ての警察署において、システム上で確認できる体制を構築したところであり、情報共有の迅速化を進めました。
今後も、運用状況を見ながら、児童相談所や関係課の職員で構成するシステム開発委員会において、必要な機能の検討を行い、児童相談所の業務執行体制の効率化と二層の強化に努めてまいります。

東上総児童相談所
第三者評価生かし
業務の質向上を図る

滝田議員 昨年度実施した東上総児童相談所の第三者評価の結果を踏まえ、今後県としてどのように取り組んでいくのか。

知事 一時保護部門では、子どもの意見表明権の補償など「子どもの権利擁護」を意識した取り組みが十分でないこと、経験年数が浅い職員の増加により、人材育成への一層の取り組みが必要などなどを指摘されました。

児相職員の人材育成と 県独自のキャリアパス 制度創設を要望!!

ための取り組みを進めてまいります。
滝田議員 子どもを未来を守るためにも、明るい将来を見ながら、児童相談所職員が誇りと意欲を持ち続けられるような、キャリアパスに基づいた体系的、計画的な人材育成が行われることを要望する。

千葉県議会随一の論客として注目される滝田敏幸議員(4期)は3月1日、12月定例に続き本会議で現役最多となる33回目の一般質問に登壇。北総鉄道運賃値下げ及び都心直結線、印西市への新児童相談所設置と児童虐待防止対策、AED普及、循環器病対策基本計画、教育問題ほか県政の重要課題について白熱の質疑を行いました。

特に、児童虐待防止対策では、今後大幅な採用増が見込まれる(保護司など)児相職員の人材育成と県独自のキャリアパス制度創設を提言。また、北総鉄道値下げからフェーズを前へ進め、成田空港アクセス強化に資する都心直結線について、国及び東京都との協議を熊谷知事に促すなど、地方自治「二元代表制」の一翼を十分担う内容となりました。今後も県政のリーダーとしての更なる活躍が期待されます。

滝田議員 野田市で発生した、わずか10歳であった女児の尊い命が両親からの虐待によって失われた事件から3年が経った。

二度とこのような悲惨な事件を起こさないためには、この事件を風化せず、子どもの命と子どもの最善の利益を最優先にするという強い決意のもと、徹底した再発防止対策に継続して取り組んでいかねばならない。

滝田議員 複雑化困難化している児童虐待事案への対応にあたり、市町村担当職員及び児童相談所職員のスキルアップをどのように図っていくのか。

健康福祉部長 市町村と児童相談所は、ともに、児童虐待の通告を受理し援助する機関として、子どもの安全と福祉を守る責務を負っており、虐待事案への対応については、適切な役割分担のもとで、連携、協力して対応していくことが必要です。

令和2年3月に改正した「千葉県子ども虐待対応マニュアル」については、市町村の意見も十分に踏まえて作成したところであり、現在市町村職員と児童相談所職員の合同研修を実施し、マニュアルの定着とともに共通理解を図るよう努めているところで、

- たきた敏幸・PROFILE**
- ・1960年 印旛郡印西町大森生まれ 大森小、印西中、県立我孫子高校卒業
 - ・1982年 同志社大学卒業
 - ・1999年 印西市議2期
 - ・2007年 千葉県議4期
 - ・2008年 印西市消防団副団長
 - ・2009年 総合企画水道常任委員長
 - ・2010年 千葉県ラグビー協会会長
 - ・2013年 総務防災常任委員長
 - ・2016年 農林水産常任委員長
 - ・2021年 千葉県監査委員

都心直結線、国・都との協議の場の設置急げ!



県執行部の施策に対して要望する滝田県議

滝田議員 今後、増大する航空需要の受け皿として、成田空港の機能強化が現在も着々と進められているが、更なる都心との交通アクセスの強化も、同時に進めていかなければ、機能強化の効果を最大限に発揮することができない。

そのためには、都心直結線は国策として、早期に整備すべきであり、県も国に対し、事業の具体化を図るよう強く求めていくべきと考える。

そこであらうが、都心直結線の整備の必要性について、県の認識はどうか。



都心直結線を走行予定のスカイライナーA-E形車両

成田空港と東京都心のアクセス性や、県北西部地域の交通利便性の向上が期待をされます。

一方で、平成28年の交通政策審議会答申では、都心部での大深度地下における施工を考慮した事業性の見極めや、事業主体及び事業スキームなどにおいて、関係者による十分な検討が必要、といった課題が示されています。

県としては、機能強化される成田空港のポテンシャルを十分に発揮するために、都心直結線の整備を早期に進めていく必要があると考えており、課題解決に向け、引き続き、国に対し、関係地方公共団体や鉄道事業者などによる協議の場を設置するよう、働きかけてまいります。

団体との協議の場の設置」という知事の言葉があったが、都心直結線のようなビッグプロジェクトは、事務方だけでなく進めようと思っても、進むものではないと考え。

やはりこれは、政治家同士、熊谷知事と小池都知事とがトップ同士で議論をして進めていくべきであり、千葉県と東京都が合意してこそ、初めて国策として

都心直結線の整備が進むのではないだろうか。

知事には、この都心直結線の整備が、成田空港の機能強化にとって死活的に重要という認識を持っていた、県は、先頭に立って、裂け目の気合で東京都や国との協議に当たっていただきたいと思う。

AED使用率4.6%普及促進策強化せよ!

滝田議員 AEDの維持管理の重要性について周知の徹底を図るべきと考えるがどうか。

保健医療担当部長 AEDが必要時に正常に作動するよう、点検を適切に実施することは、大変重要であると認識しています。

県では、成田市の事業を踏まえ、各消防本部に対し、救急業務に使用する資器材の点検と再発防止の徹底などを要請するとともに、AEDを設置している公共施設に対し、保守点検の徹底を要請しました。

また、AEDを設置して

いる民間施設に対しても、県ホームページ等の広報媒体や各部署の関係団体を通じて、確実な保守点検の実施について働きかけてまいります。

滝田議員 民間が設置しているAEDも数多くあり、きちんと点検がなされているか非常に心配であるので、民間が設置するAEDも常に使用できる万全な環境整備に取り組みたいと強く要望する。

北総鉄道運賃値下げと経営安定化を質す

滝田議員 北総鉄道の令和3年度上期決算の状況はどうか。

総合企画部長 北総鉄道の令和3年度上期決算は、輸送人員が年度当初に、昨年の緊急事態宣言に伴う大幅な落ち込みから回復したことなどにより、旅客運輸収入は、前年度同期と比べ7.0%増の49億3千7百

万円となりました。

また、費用面では、安全の確保を前提にコスト削減に努めた結果、純利益は19.5%増益の8億9千4百万円となりました。

しかし、感染症拡大前の令和元年度同期と比べると、旅客運輸収入は24.8%減、純利益も41.4%の減益となるなど、感染症の影響に

よる厳しい状況が続いており、会社では、層の経営改善に努めていくとしています。

滝田議員 北総鉄道の経営安定化に向けて、県は、今後、どのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 県としては、長期債務の縮減を図ることが重要と考えており、

引き続き、国に対し、長期債務の軽減措置を要望してまいります。

また、利用者の増加に向け、沿線市などと構成する「北総線沿線地域活性化協議会」において、沿線地域のPRやイベントの開催などについて、検討してまいります。

滝田議員 長期債務の軽減を求めているが、

くとのことだが、これはそんなに簡単ではない。東葉高速鉄道も同様の問題を抱えており、知事の政治的な力も必要だと思つたので、しっかりと取り組んでいただきたい。

イベントの開催については、会社との信頼関係も醸成されたことなので、北総鉄道と連携し、乗客の利用

促進について、知恵を出してもらって、沿線6市と共に取り組んでいただきたい。

ただでさえ、コロナの影響により運賃収入が減少している中で、運賃値下げにより19億円の減収が予想される中で、持続可能な会社経営の安定化図られ、安心・安全な鉄道運行を維持していくことが重要である。

県には、引き続き、リーダーシップを発揮していただき、利用者増となるよう取り組んでいただきたい。

滝田議員 AEDの使用率の現状はどうか。

保健医療担当部長 AED使用率は、平成27年度の5.0%から、令和元年度の6.3%まで増加してきたところですが、令和2年度は、心肺停止で発見された1294人のうち59人に使用され、使用率は4.6%になりました。

滝田議員 民間が設置しているAEDも数多くあり、きちんと点検がなされているか非常に心配であるので、民間が設置するAEDも常に使用できる万全な環境整備に取り組みたいと強く要望する。

滝田議員 民間が設置しているAEDも数多くあり、きちんと点検がなされているか非常に心配であるので、民間が設置するAEDも常に使用できる万全な環境整備に取り組みたいと強く要望する。

滝田議員 民間が設置しているAEDも数多くあり、きちんと点検がなされているか非常に心配であるので、民間が設置するAEDも常に使用できる万全な環境整備に取り組みたいと強く要望する。

鎌ヶ谷・本埜線バイパス早期開通を要望

滝田議員 県道鎌ヶ谷本埜線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 これまでに用地取得を完了し、印西市側の2.0キロメートル区間の工事が概成しており、現在、残る区間の道路改良工事等を実施しています。

このうち旧長門川を横断する両渠の工事においては、想定よりも地盤が軟弱であったため、現在、河川を締め切る仮設工事に追加対策を実施しているところであり、当初の工程よりも遅れが生じております。

県としては、今後速やかに対策工事を完了させるとともに、両渠工事を進め、1日も早く供用できるように事業を進めてまいります。

滝田議員 県道鎌ヶ谷本埜線バイパスは、当初の工程よりも遅れが出てきていることだが、地元期待も大変大きいので、一日も早く、供用するようお願いする。

滝田議員 県道鎌ヶ谷本埜線バイパスは、当初の工程よりも遅れが出てきていることだが、地元期待も大変大きいので、一日も早く、供用するようお願いする。